

「インストール」 綿矢りさ 著 河出書房新社

著者の綿矢りささんは、2001年に本作でデビューし、当時最年少17歳で第38回文藝賞を受賞している方です。実は私と同年で、私が学生の時に「同年の女子高生がこんな物語を書くのか!!」と衝撃を受けた作品です。私自身、理系で活字も苦手な性格ですが、本作はうれしい事にページ数が100ページほどと、教科書よりも少なく、あっという間に読み切れてしまいます。読書や活字に抵抗のある方には、そういう意味でもおすすめです。私は、本書をきっかけに読書や活字への抵抗が無くなり、本を読み、本から学ぶ事が出来るようになった、いわば思い出の作品です。

本作は、“進路で悩む登校拒否の女子高生と近所に住むPCヲタクの小学生男子が、ひょんなことから、風俗チャットでひと儲けする”という、一文で書くと如何にも卑猥でアンダーグラウンドな内容ですが、それを物語として完成させ、文藝賞を受賞する当時女子高生の綿矢さんは、さすがの文才だと感じました。

正直、学校の推薦図書で本作を紹介するのは批判もありそうですが、本校図書館にも蔵書されており、年齢制限もない事から紹介しようと思いました。勉強などに疲れて頭の中を切り替えたい時に読んでみてください。

ただし、学生の皆さんは本作を真似し、物語と同じ行動をすることの無いように、お願いします!!

進路に悩み、登校拒否をしながら風俗チャットでお金を稼ぐ…

高校卒業が危ない中、棚から牡丹餅のように稼ぐ方法が見つかった…

時給も良く、楽なように感じますが、果たして高校生の心境はどうなのでしょう？

小学生の男子は、どうして高校生と一緒にアンダーグラウンドな世界に入り込んだの？

女子高生と小学生男子の関係は、どんな関係？

2人の保護者は??

文才の無い私が推薦しても、ピンと来ないかもしれませんが、もし興味が沸いたらぜひ、読んでみてください。